

いばたてい



もみ殻を使った焼き芋（昨年の様子）



雲南市は11月に
市制施行20周年を
迎えます。

サツマイモ苗の植え付け（斐伊保育所）

斐伊保育所の園児たちが、サツマイモ苗の植え付けに挑戦しました。この日植えた苗は、地元の^{おだ がわ きよし}小田川 清農業委員から提供された「紅はるか」。園児たちは植え方のコツを聞きながら植え付けを行いました。10月頃に収穫し、スクモ（もみ殻）を使って焼き芋にする予定です。



令和6年度最適化活動の目標の設定など

農業委員会では、農地の集積、遊休農地の解消、新規参入の促進といった農地などの利用の最適化推進に係る活動を実施しています。令和6年度の活動目標を次のとおり設定いたしました。その目標と現状についてお知らせします。なお、活動の点検・評価などの詳細については、農業委員会ホームページに掲載しています。

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

現 状	管内の農地面積 (A) 3,440ha	これまでの集積面積 (B) 646ha	集積率 (B) / (A) 18.8%
今年度の新規集積面積	332ha	農地面積 (C) 3,440ha	
今年度末の集積面積 (累計) (D)	978ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D) / (C)	28.4%

(2) 遊休農地の解消

現 状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0.8ha	0.5ha	0.3ha

ア 既存遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	4ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.8ha
令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地面積	9ha
前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.7ha

(3) 新規参入の促進

現 状	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者	
	0 経営体	1 経営体	2 経営体	
	0ha	1ha	1.6ha	

権利移動面積	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
	82ha	67ha	88ha	79ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			7.9ha	

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	11.9日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19人
		農地利用最適化推進委員の人数	37人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		1 回
取組時期	取組項目	強化月間の内容
8 月～ 1 月	遊休農地の解消 農地の集積	農地パトロールによる遊休農地の把握 利用状況調査結果に基づく耕作の意向確認

地域農業の将来のあり方や農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定することが国において定められました。これを受



地域計画説明会（掛合地区）

6～7月

地域計画説明会

その後、参加者からは説明に対する質疑や市の施策への要望などを伝えました。



合同研修会の様子

4/23

令和6年度
合同研修会

農業委員、農地利用最適化推進委員を対象とした合同研修会を雲南市役所で開催しました。研修会では、農業分野の基本方針、施策の方向性を示した雲南市農業ビジョン（令和5年3月策定）や令和6年度の農林業施策の説明が市の各担当者からありました。



農地パトロール (利用意向調査)を行います

農業委員会では

- ①遊休農地の実態把握と発生防止・解消
- ②地域の農地利用の確認
- ③違反転用発生防止・早期発見

を目的に毎年市内全域を農地パトロール（利用意向調査）しています。

農地パトロールでは市内にある農地の利用状況調査を行います。

現地調査では、農地の営農状況や荒廃の情報などを把握します。

調査で農地を Aa【緑】分類、Ab【黄】分類、B【赤】分類に区別します



昨年の様子

なぜ調査が必要なの？

農地法では「農地を農業上適正、かつ効率的な利用が確保するようにしなければならない」と農地の権利を有する者の責務規定があります。

農地の適正な管理を怠ると雑草が生い茂るほか、害虫の温床になるだけでなく、ごみの不法投棄、悪臭や汚水などの発生源となり近隣農業者や周辺住民に大きな迷惑となります。適正な管理をお願いします。



遊休農地とは？

- 1号遊休農地 1年以上にわたり耕作されておらず、今後も維持管理や耕作が行われる見込がない農地 【緑・黄】
- 2号遊休農地 農作物の栽培は行われているが周辺の農地と比べてその程度が著しく劣っている農地

Aa 分類
再生利用が可能な荒廃農地



草刈り等で直ちに可能となる農地【緑】

Ab 分類
再生利用が可能な荒廃農地



基盤整備事業等の整備が必要となる農地【黄】

B 分類
再生利用が困難な農地



農地パトロールの実施
(7月～10月)



耕作や保全管理されている農地

今後も適切な管理をお願いします

Aa・Ab 分類
再生利用可能な農地 【緑・黄】

利用意向調査
(12月ごろ)



B 分類

山林化しているなど、農地に復元するための条件整備が著しく困難と見られる農地

研修会が終わると、しまね農業委員会女性協議会の総会も開催され、事業報告や予算などが承認されました。



女性協議会総会

島根県立男女共同参画センターあすてらす（大田市）を会場に、島根県農業会議の主催する女性農業委員・推進委員研修会が開催され、県内の各農業委員会から39人の委員、関係者が参加しました。研修会では、全国農業会議所から農業・農政をめぐる情勢説明や県内農業委員会からの取り組み発表がありました。このうち、安来市農業委員会からは、地元祭りでの啓発活動の状況や、委員自らが提供する食材を使った出店の様子などが報告されました。

6/12

令和6年度

女性農業委員・推進委員研修会

け、雲南市の主催により6月から7月にかけて、市内の各地域において、説明会が開催されました。説明会には、地域の認定農業者、農業団体や農業委員などが参加し、情報共有や意見交換を行いました。

全国農業新聞を読みますか？

毎週発行：月額700円（送料・税込み） 申し込みは農業委員会まで。



うまもん

うんなんのシリーズ

農業委員会の情報委員メンバーの「ちょっとこれ！たべてみーだわ！」という商品を紹介していきます。

今回はこれ

今回のうまいもんシリーズは、三刀屋町の「ももいろキッチン」のシフォンケーキを紹介します。

ももいろキッチン（代表 永井まゆみさん）のシフォンケーキは、すべて油を使わず米粉でできているというのが大きな特徴です。



永井まゆみさん

「米粉で作ってくれたら私でもシフォンケーキを食べることができると」と小麦アレルギーの友人から言われた言葉がきっかけで、ノンオイルの米粉シフォンケーキに挑戦。オンラインで学びながら、試行錯誤を幾



▲開運シフォンケーキ
地元の醤油やコーラを使ったシフォンケーキもあります

営業情報

Tel 080-6312-0590

Instagram @momoirokitchen

ホームページ等で随時情報発信



Instagram



ホームページ

度も繰り返した苦心の末、出来上がったのだそうです。
低カロリーなうえ、主原材料には雲南市産の米・卵を使っています。醤油味・コーラ味など地元の人と共同で商品を開発し、ケーキの種類もだんだんと増え、リピーターもできました。何より小麦アレルギーでも食べることができシフォンケーキを喜んで待つくれる人が増えたと嬉しそうに話してくれました。
開運シフォン・満月シフォンと名前から興味をそえられるシフォンケーキは、大社の神塩や満月塩を使ったもので、永井さんが自ら名付けたケーキです。
販売は、店を構えず、主にオンラインでの予約販売やイベントなどでの移動販売をされています。販売情報はももいろキッチンの公式Instagramにて随時発信されています。

（佐藤 博子）

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

- 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！
- 一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助
- 加入で大きな節税効果！保険料は全額社会保険料控除の対象

令和4年から改正されました。

- ① 35歳未満の方は保険料下限額が2万円 ⇒ 1万円に引き下げ。（一定の要件あり）
- ② 年金受給開始時期が選択できます。（65才以上75才未満で選択）
- ③ 65歳まで加入できます。（国民年金任意加入者のみ）

※詳しくは農業委員会かお近くのJAへ！

老後生活への備えは十分ですか？



終身年金で安心！

詳しくは… 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>



編集後記

週末農業（体験）始めませんか？

会社勤めをされているみなさんの趣味は何でしょうか。多々ある方もいると思います。その中に農業（野菜園芸など）を趣味の一つとして加えてみませんか。

昨今、農業分野では後継者不足により各地では耕作放棄地が年々増えていきます。その土地をうまく利用して、キャベツ、なすび、オクラ等々たくさん野菜栽培ができます。

ただ、すぐに行動に移すにしても、知識の習得、機械の導入などに抵抗があるかと思えます。そんなときは、家族や友人を誘ってみてはいかがでしょうか。

私は農業にほとんど興味がなかったのですが、会社勤めの仕事内容がたまに生かされ、最近、はまりつつあります。野菜作りをしていて「結構奥が深いな」とつくづく感じており、これが持続している一つの要因かもしれません。

野菜作りは種まきから始まり、育苗管理、野菜を作る畑への施肥設計、施肥・耕起、定植、栽培管理、収穫、調整と一連の流れがあります。これを家族または友人などと相談しながら行うと話題も豊富になり、違った世界が発見できるのではと思うこともあります。

既に退職され家庭園芸などをされている方も同じです。農業は「汚い」「きつい」「つまらない」などというイメージが根付いていますが、最近は芸能人、元スポーツ選手なども農業に携わっている方が多くいるようです。農業で儲けようではなく、まずは趣味の一つとしていい汗をかき、皆で笑顔になり自然の力を発見してみてもいいでしょう。

（投稿者 H・H）